

# 皆野・長瀬ロータリークラブ

## 週報

- ◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
- ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
- ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内  
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
- ◇点 鐘 畝 徳治会長
- ◇ソング 奉仕の理想



ロータリーは世界をつなぐ

## 第1498回例会 令和2年1月16日(木)

### 【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。今日も学問のすすめの続きになります。人望論という事で、言葉自身難しいのですが、分かりやすく言っています。それに関して複数の意見も言っています。



十人の見るところ、百人の指すところにて、「何某は慥（たし）かなる人なり、たのもしき人物なり、この始末を託しても必ず間違いなからん、この仕事を任しても必ず成就することなからん」と、あらかじめその人柄を当てにして世上一般より望みをかけらるる人を称して、人望を得る人物という。およそ人間世界に人望の大小軽重はあれども、かりそめにも人に当てにせらるる人にあらざれば、なんの用にも立たぬものなり。その小なるを言えば、十銭の銭を持たせて町使いに遣る者も、十銭だけの人望ありて、十銭だけは人に当てにせらるる人物なり。十銭より一円、一円より千円万円、ついには幾百万円の元金を集めたる銀行の支配人となり、または一府一省の長官となりて、ただに金銭を預かるのみならず、人民の便不便を預かり、その貧富を預かり、その榮辱をも預かることあるものなれば、かかる大任に当たる者は、必ず平生より人望を得て、人に当てにせらるる人にあらざれば、とても事をなすことは叶い難し。

「大ききで言えば、大きな会社を運営する人はそれが人望の大ききさを表しているという事になるかと思われます。そこが一つの定義であるし、大ききに差があると。差があつても人望という事ですと言っています。その後問題点を2つ言ってます。」

人を当てにせざるはその人を疑えばなり。人を疑えば際限もあらず。目付に目をつけるがために目付を置き、監察を監察するがために監察を命じ、結局なんの取締りにもならずしていたずらに人の気配を損じたるの奇談は、古今にその例はなほ多し。

「今の会社でも政府でも監査員を更に監査するというのがありますが、福沢さんは予見しています。また人望があればいい方向ですが。」

また三井・大丸の品は正札にて大丈夫なりとて品柄をも改めずしてこれを買ひ、馬琴の作なれば必ずおもしろしとて、表題ばかりを聞き注文する者多し。ゆえに三井・大丸の店はます

ます繁盛し、馬琴の著書はますます流行して、商売にも著述にもはなはだ都合よきことあり。人望を得るの大切なることもって知るべし。

「人望のいい方向の例です。反対という事で見誤る事もあるという事で」

人望は智徳に属すること当然の道理にして、必ず然るべきはずなれども、天下古今の事実においてあるいはその反対を見ること少なからず。藪医者が玄關を廣大にして盛んに流行し、売薬師が看板を金にして大いに売り弘（ひろ）め、山師の帳場に空虚なる金箱を据え、学者の書齋に読めぬ原書を飾り、人力車中に新聞紙を読みて宅に帰して午睡を催す者あり、日曜日の午後に礼拝堂に泣きて月曜日の朝に夫婦喧嘩する者あり。滔々（とうとう）たる天下、真偽雑駁、善悪混同、いずれを是としいづれを非とすべきや。

「クエスチョン的に終わっていますが、以上が抜粋ですが、人望は大切だと言っているのとともに見誤る事もあるので、注意が必要だという事も言っているので、混在していますが、人望とは何だろうと言った時になるほどとわかんと思ひます」

前回議論した内容ですが、クラブとしてまとめました。貴クラブの誇れる点の発表についてですが、地区大会のプログラムの中で1分紹介するのですが、誇れる点はあまりないので、クラブとしてこんな事をしていましてという事をまとめました。まず埼玉県の西部、秩父盆地の北側に位置する皆野町、長瀬町、秩父市吉田、大田、黒谷を地域限界としていましてという事で場所を紹介します。次に2つ紹介します。1つ目は、親睦例会を通して会員と家族をつなぐ。毎月会員の配偶者も参加出来る親睦例会を開催、奥様同士のつながりが出来るという事で奥様が協力的なロータリーの支援者になっていまして。2つ目は児童生徒の教育支援を通してロータリーの人望を高める。皆野町主催の美の山さくらマラソン、長瀬町主催の子供球技大会に表彰メダルを寄贈、会員が立ち会ってメダルの授与をしており、子供達の励みになると共にロータリーに対する保護者等の認知度が向上する事を目指したものであるという事で、ささやかな活動でクラブの継続と認知度の向上に努めていますという事を発表したいと思ひます。

公共イメージセミナーがありますが、ロータリーって何のアンケートという事ですが、アン

ケートは公共イメージセミナーの後で、セミナーについてはアンケートを取る場所や時間帯について検討して下さいという事です。アンケートですが、場所とは空間的な意味ではなく、どのような人、集団でという主旨と理解と理解して、当クラブで増強の議論であるが団体、また観光地なので観光客についても行いたいと思います。新聞広告への協力依頼という事です、クラブあたり2万円程度の協力を頂ければという事です、大きいクラブ、小さいクラブで差があった方がいいのではないかと話があったので、考えてみました。

どのクラブも紙面の大きさが同じなので負担も同額と考えたものと思います。相手の提案を認めておいて、広告代金は紙面の大きさ掛ける販売数に比例するように思います。私どものように人口過疎の地域と住民が多数おられる地域とでは販売数(当該広告を目にする読者数)が大きく異なると思いますので、その点を加味して負担の軽減をお願いしますと言っておいて、付け足しは改定案として、地域の販売数に比例させるのは実際には困難なので、近似的にクラブの会委員数に比例させる方法が妥当と言えます。つまり一人あたりが同じになるような負担にして下さいというように書いてみました。

**【幹事報告】** 山田 利明

米山記念奨学会よりハイライトよねやまがきています。他にはありませんので目を通してください。

## 干支の話



山田 利明会員

今年は庚年ですが、十干は甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸です。方位に配置していくと、甲乙は始まりなので東の方向です。卯の方向で、丙丁は南に行きます。5方位なので、次は中央ですが、戊己なので真ん中に行きます。次に庚辛は西の方向です。酉をはさんで両側が庚、辛。壬癸ですが、北側の方向の両側です。計算としては、1つずつ回りますので、今年は2020年ですので、2020から3を引きます。2017になります、これを10で割って、余りは7になり、十干の7つ目の庚になります。成長の度合いも示しています。庚は実を結んで種が出来る。次の芽が出る準備に入ったという事です。

十二支は子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥ですが、成長の度合いを示して、子は種、丑は草木が伸びてちょっと葉が出た状態、虎は葉が2枚になって、その後成長して行って亥になり朽ちていくという順序を著して十二支です。2020から3を引いて12で割ると、余りは1になります。それで子年です。この十干、十二支を組み合わせると庚の子年です。

子年は北の方向で、十二支の最初です。占いで九星占術というのがありまして、9つの架空

の星をどこの位置にするかという事です。言い忘れましたが、最初の十干は土星の公転周期、土星の周期は30年なので、10の倍数なので土星の位置がずれます。30年で元の位置に戻り、10の倍数です。十二支は木星なので12年で1回回ります。それで12で分けています。季節に影響します。木星の位置、土星の位置、そして月の位置がどうのと言うと、大宇宙の原則が狂ってきます。良い年もあれば悪い年もあり、占いができます。九星は架空の星で、一白水星・二黒土星・三碧木星・四緑木星・五黄土星・六白金星・七赤金星・八白土星・九紫火星です。七赤金星は普通西ですが、今年は回って真ん中にあります。それが影響する星になります。どんな物を表すかですが、西、赤、少女、秋です。

九星占術では七赤金星が、十干では庚が、十二支では子が影響があるという事で、庚、花を咲かせて実を結んで種が出来ます。種の状況が庚の年です。子はこれから成長して子孫を増やす、出発の時です。庚の方位は西南西です。これから完成して力を加えて、最初の芽が出る方向へ結んでいく。子は北、色は黒で、種の状態で、これから芽が出つ出発点です。七赤金星は南西、今年は中宮、色は赤。本来南西に位置するものが中宮にあがって、めらめら燃える意味があります。

この3つの方向を組み合わせは180年に1回です。今年は十干で準備は出来た。金は出来た。私の判断ですが、種が出来て、種に水をやり、芽を出そう。めらめらと燃える時期ですよ。今年の運勢はいろんな事をやりなさい。出発点ですから。去年は思いとどまった方がいいと言ったと思いますが、今年はやった方がいいという事になります。高島暦によると子の方向は四季の万物の生成を知る良い神、吉神、建築、移転、商取引等、結婚等建設の適事業は吉、ただし、木を切るとかは良くないと。発展する方向に行くと。そういう事が出来る年ですと。

私が考えるにあたって、悪い事は言わない事にしていきます。私達も年寄りになってきますので、年寄りの気持ちを出発点にするのも良いんじゃないですか。建築についても良いと。私の所に今年結構仕事が入っていて、忙しいという事でやっています。

今どうしたら良いか、今降りかかっている事を一生懸命やるのが良いのではないかと。「白雲自ら去来す」暑い日に仕事している。雲の下が涼しくていいかなと。でも雲は自分の所には来てくれない。休んでいると日が暮れてしまう。待つのではなく、一生懸命ひたすらしていると雲が来てくれるかもしれない。雲は運やチャンスの事で、ただ一生懸命やると運は必ず巡ってくると。私は出発点で芽を出そうという事でいい年になるのではないかと考えています。

## 出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
11	0	5	2	63.6%